

国際 OR 学会連合 (IFORS) について

松 田 武 彦*

1. 目的・発生

IFORS (International Federation of Operational Research Societies) —国際 OR 学会連合— は、統一科学としての OR の進歩と世界各国におけるその発展とを目的として、1956 年頃から胎動を開始し、1957 年の第 1 回国際会議 (非公式) を経て 1958 年 9 月に会則を制定し、1959 年から正式の機構を整えて発足したものである。

2. 構 成

IFORS は、その名のとおり、それぞれの国での OR の発達を目的とする各国 OR 学会の国際的連合体で、発足当時の構成員は、アメリカ、イギリス、フランス 3 国の OR 学会であったが、1973 年 3 月現在、つぎの 25 カ国の OR 学会によって構成されている (アルファベット順)。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、デンマーク、フランス、西ドイツ、ギリシア、インド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカ、ソビエト連邦
このほかに同族学会 (Kindred Societies) (投票権なし) として、次の三つがある。

AGIFORS (Airline Group of IFORS)、チェコスロバキア科学アカデミー経済数理委員会、TIMS (The Institute of Management Sciences)

IFORS と TIMS との関係がここに規定されているわけである。

3. 機構・運営

IFORS の意思決定の最高機関は代表者会 (Board of Representatives) で、IFORS の役員——会長 (President)・副会長 (Vice President)・前会長 (Immediate Past President)・総務担当 (Secretary)・会計担当 (Treasurer)——と、各構成員国 OR 学会の指名した代表者 (Representative) 各 1 名とで構成される。

代表者会の議決は、通例書面投票によって行なわれるが、このときの各国代表者の投票効力は、その国の OR 学会の有資格会員 (qualified members) の数の平方根に等しいと規定されている。ちなみに有資格会員とは、大学卒業後最低 2 年の OR 実務歴を有するか、またはこれと同

* 東京工業大学工学部経営工学科。

等以上の学識経験を有する者を指す。各国学会所属の有資格会員数は、上述のとおりその国の発言力を決めるが、他方、IFORS の財政を支える各国学会の負担金がこの数に比例して賦課される仕組みになっており、この数の変更は代表者会の議決を必要とする。

IFORS の総会 (General Meeting) は、通常、定例の国際会議の会期中に開催される。総会には、各国学会に対して、その代表者を含めて、その国の投票効力に比例する人数の出席者が割り当てられる。1972 年アイルランドのダブリンにおける第 6 回国際会議期間中の総会では、日本 OR 学会への割当ては 3 名であった。

なお、総会での結論も、やはり後日代表者会の書面投票によって追認されなければ、すべて有効とならないことになっている。

4. 役員・事務局

IFORS の正式の選出役員は、会長 (現在デンマークの Jensen 教授)、副会長 (現在インドの Banarjee 氏)、前会長 (現在カナダの Lee 氏) で、任期は 3 年である。このうち副会長は 1968 年以来 1 名であったが、1974 年以降これを 3 名までふやす案が現在審議中である。

会長、副会長の選出は、総会時の代表者会の指名および/または各国 OR 学会からの指名に基づき、代表者会の投票によって行なわれる。

会長、副会長、前会長は運営委員会 (Administrative Committee) を構成して IFORS の政策立案に当たる。

IFORS の構成員である各国 OR 学会の中から一つが支援学会 (Foster Society) に選ばれ、その国に IFORS の事務局 (Secretariat) が置かれる。現在、イギリス OR 学会 (Operational Research Society) が 1968 年以来ひき続いて支援学会になっている関係から、IFORS 事務局はロンドンのイギリス OR 学会事務局と同居している。

IFORS は支援学会を通じて総務担当 (Secretary) を雇用することができる。また、支援学会は会計担当 (Treasurer) を任命する。IFORS の会計は支援学会——現在イギリス OR 学会——の指定する公認会計士 (chartered accountant) の監査を受けなければならない。

総務担当 (現在 Kinnaird 夫人) および会計担当 (現在 Colclutt 教授) は職権による (*ex officio*) IFORS 役員であり、投票権は持たないが運営委員会の構成員となる。

創立以来現在までの IFORS 役員は次のとおりである。

第 1 代 (1959/60/61)	会 長	Charles Goodeve 卿 (イギリス)
	会 計	Donald Hicks 氏 (イギリス)
第 2 代 (1962/63/64)	会 長	Philip M. Morse 教授 (アメリカ)
	会 計	Robert G. Brown 氏 (アメリカ)
第 3 代 (1965/66/67)	会 長	Marcel Boiteux 氏 (フランス)
	会長代行	Charles Salzman 氏 (フランス)
	会 計	Henri Lavaill 氏 (フランス)

第4代 (1968/69/70)	会 長	Alec M. Lee 氏 (カナダ)
	副 会 長	松田 武彦 (日本)
	前 会 長	Charles Salzmänn 氏 (フランス)
	総 務	Margaret Kinnaird 夫人 (イギリス)
	会 計	Roger H. Collcutt 教授 (イギリス)
第5代 (1971/72/73)	会 長	Arne Jensen 教授 (デンマーク)
	副 会 長	B. P. Banarjee 氏 (インド)
	前 会 長	Alec M. Lee 氏 (カナダ)
	総 務	Margaret Kinnaird 夫人 (イギリス)
	会 計	Roger H. Collcutt 教授 (イギリス)

5. 常置委員会

IFORS の目的実現の方途を探るため、会長は次の三つの常置委員会を任命する。

(1) 渉外委員会 (External Affairs Committee) (3名)

他の国際機関との交流を目的とするもので、学問的には IFAC (International Federation of Automatic Control), IFIP (International Federation of Information Processing) 等との協同、文化的には UNESCO など国連諸機構との接触がおもな任務である。前会長がこの委員長を兼ねるので、現在委員長はカナダの Lee 氏。

(2) 刊行物委員会 (IFORS Publications Committee) (3名)

IAOR (International Abstracts in Operations Research) を含む IFORS 刊行物全般に責任を持ち、委員長が諸刊行物の総編集人 (General Editor) となる。現在委員長はイギリスの Lawrence 氏。

(3) 企画委員会 (Plans and Programmes Committee) (3名)

IFORS の活動ならびに運営について、会長が総会時の代表者に提案する長期計画案作成の責任を負うもので、IFORS の今後の動向に大きな影響を持つ。現在委員長はアメリカの Engel 教授。日本の今村和男教授が委員の1人である。

6. 国際会議

IFORS の定例国際会議は3年ごとに開催される。現在までに下記6回の国際会議が開かれたが、日本 OR 学会からは毎回代表を派遣しており、わが国に対する議席割当ても回を追って増加している。

第1回 (非公式)	1957	Oxford (イギリス)
第2回	1960	Aix-en-Provence (フランス)
第3回	1963	Oslo (ノルウェー)
第4回	1966	Cambridge (アメリカ)
第5回	1969	Venice (イタリア)

第6回 1972 Dublin (アイルランド)

会長は、次期国際会議のための開催候補地の選定その他受入れ準備に責任を持つ担当学会 (Host Society) を選ぶとともに、会議計画案を代表者会に提出して承認を求める。日本 OR 学会が 1975 年開催予定の第 7 回国際会議の担当学会となっていることは周知のとおりである。

会長はまた、次期国際会議のプログラム委員会 (Programme Committee) の委員長を任命する。1975 年の国際会議のためには、日本の近藤次郎教授がイギリスの Colclutt 教授と並んで、プログラム委員会の cochairman に任命された。

国際会議参加者総数の枠は、そのときの担当学会が決定する。ただし IFORS を構成する各国 OR 学会には、少なくとも各 3 名の議席を提供しなければならない。反面、どの 1 国の OR 学会の代表団も参加者総数の 1/3 を超えることはできない。

なお、現在 IFORS の構成員国でなくても、希望する国またはその国民が参加できるよう、一定の参加者枠が会長に与えられている。

国際会議の内容は会報 (Proceedings) として刊行される。

3 年ごとの定例の国際会議の中間に、特別テーマの国際会議や、各国学会の集会のうちでその性格上 IFORS 後援と銘打つ会議などが開かれる。

上記のいろいろな国際会議における論文の発表・刊行に際しては、英・仏 2 カ国語が公用語であるが、発表だけについては、会長の承認を条件に、担当学会の公用語——日本での国際会議なら日本語——によってもよいことになっている。

IFORS 参加各国学協会一覧

- Argentina:** Sociedad Argentina de Investigacion Operativa. *Secretary:* Lic. C. S. Rizzo, Libertad 1235-Subsuelo Buenos Aires
- Australia:** The Australian Joint Council for Operational Research. *Secretary-Treasurer:* R. W. Rutledge, Colonial Sugar Refining Co., 1 O'Connell Street, Sydney, N. S. W. 2000
- Belgium:** Société Belge pour l'Application des Méthodes Scientifiques de Gestion. *Secretary:* J. Henry Lentzen, 66 rue de Neufchatel, B 1060, Bruxelles 6
- Brazil:** Sociedade Brasileira de Pesquisa Operacional. *Secretary:* Eng. A. R. de Cerqueira Lima, c/o Cia N. T. Nova America, Rua Dom Gerardo 35-Sobrelôja 2, 200, 000 Rio de Janeiro (GB)
- Canada:** Canadian Operational Research Society. *Secretary:* J. A. Kennerley, P. O. Box 2225, Station D, Ottawa, Ontario
- Denmark:** Dansk Selskap for Operationsanalyse. *Secretary:* Prof., Lic. tech. Jakob Krarup, Danmarks Tekniske Højskole, Institutet for Matematisk Statistik og Operationsanalyse, Bygning 349DK-2800 Lyngby
- France:** Association Francaise pour la Cybernetique Economique et Technique. *Secretary:* Mons. J. Pelpel, Immeuble C. U. Dauphine, Place du Mal. de Latre de Tassigny, 75, Paris 16
- Germany:** Deutsche Gesellschaft Für Unternehmensforschung. *Secretary:* Dr. Arno Peters, 6 Frankfurt/Main 50, Eleonore-Sterling-Str. 64, W. Germany
- Greece:** Hellenic Operational Research Society. *Secretary:* Dr. Charalampos Sepentzis, 6 E. Venizelou Avenue, Athens 133
- India:** Operational Research Society of India. *Secretary:* Dr. J. Sudarshan Rao, 1/4 Monica Apartments, 9B Lord Sinha Road, Calcutta 16
- Ireland:** Operations Research Society of Ireland. *Secretary:* P. J. McGorrian, Bank of Ireland Group, Hume House, Ballsbridge, Dublin 4
- Israel:** Operations Research Society of Israel. *Secretary:* Dr. Y. Almog, Faculty of Industrial and

- Management Engineering, Technion—Israel Institute of Technology, Haifa
- Italy** : Associazione Italiana di Ricerca Operativa. *Secretary*: Sig. ra A. Bagnasco Martinoli, Via Serretto 1/4, 16131 Genova
- Japan** : Operations Research Society of Japan.
- Korea** : Operations Research Society of Korea. *Secretary*: Fun Yong Hwan, 9-6 3-Ka, Chung-Jong-Ro, Serdaemoon-ku, Seoul, Korea
- Mexico** : Asociación Mexicana de Investigación de Operaciones y Administración Científica. *Secretary*: A. Moreno-Bonnett, Dept. Investigación de Operaciones y Estadística Secretaría de Obras Públicas, Ave. Universidad y Xola, Mexico D. F.
- Netherlands** : Sectie Operationele Research. *Secretary*: Ir. J. Th. Chardon, De Lairessestraat 111-115, Amsterdam
- New Zealand** : Operational Research Society of New Zealand. *Secretary*: B. K. Campbell, P. O. Box 904, Wellington
- Norway** : Norsk Operasjonsanalyseforening. *Secretary*: Mr. Willy E. Wiik, Bedriftsøkonomisk Institutt, Brysjava. 33, Oslo 8
- Spain** : Sociedad Espanola de Investigación Operativa. *Secretary*: Juan Béjar Alamo, Instituto de Investigaciones Estadísticas, Serrano 123, Madrid 6
- Sweden** : Svenska Operationsanalysforeningen. *Secretary*: Fil. kand. Knut Angstrom, Bohlins Revisionsbyrå AB, Fack, S-102 40 Stockholm 5
- Switzerland** : Schweizerische Vereinigung für Operations Research. *Secretary*: Dr. Jurg Wettstein, P. O. Box 57, CH-3000, Bern 25
- United Kingdom** : Operational Research Society. *Secretary*: Mrs. M. Kinnaird, 62 Cannon Street, London EC4N 6AD, England
- United States** : Operations Research Society of America. *Secretary*: Robert M. Oliver, Operations Research Center, 3115 Etcheverry Hall, University of California, Berkeley, California 94720
- Union of Soviet Socialist Republics** : *Secretary*: V. Borisov, Technical Committee on Operations Research, Computer Center of Academy of Sciences, Vavilov Street 40, Moscow, U. S. S. R.
- AGIFORS** : Airline Group of I. F. O. R. S. *Secretary*: Maurice A. Foley, Systems Services Manager, Aer Lingus—Irish, Dublin Airport
- EMCO** : Economico-Mathematical Commission, Czechoslovakia. *Secretary*: Dr. Jaroslav Habr, Economico-Mathematical Commission of the Czechoslovak Academy of Sciences, Politických vězňů 7, Prague 1
- TIMS** : The Institute of Management Sciences. *Secretary*: Dr. Sidney W. Hess, Wharton School, Univ. of Pennsylvania, Philadelphia, Pennsylvania 19104